



2024協約改訂を全組合員で闘おう！シリーズ①

137項目の要求提出！ 営利優先よりも労働条件改善が先だ！

本部は8月6日、2024年度労働協約改訂及び労働条件改善に関する申し入れ（『申第5号』）を会社に提出しました。

インバウンド等の影響で新幹線・在来線ともに収益は好調となっています。これは、日頃から安全・安定輸送に取り組んでいる社員の努力の結果です。その努力に応えるべき労働条件改善は必須です。一方、会社はリニア建設について、2027年開業を断念しました。工事の遅れが次々と明らかになり、完成の見込みはいつになるのか分かりません。無謀なリニアへの投資は、社員の労働条件悪化に直結します。今こそ、リニア建設を中止すべきです。

J R 東海労は、今労働協約改訂交渉において労働条件改善を目指し闘います。

主な要求項目

- ★各種手当、割増賃金を増額すること。祝日手当を復活させること。
- ★65歳まで定期昇給を行うこと。
- ★基準昇給額1乗数1、500円、現等級経過年数による逡減を撤廃すること。
- ★異常時において、労基法第34条に則り、休憩時間を出先地で与えること。また、勤務終了後や勤務終了直前に休憩時間を指定することはやめること。
- ★人事考課で2期連続D判定での降格や降職する制度は撤廃すること。
- ★乗務員の在宅休養時間、睡眠時間を必ず確保すること。
- ★制服の更衣時間、更衣室から点呼場までの移動時間、勉強会や訓練会に要する移動時間を労働時間とすること。
- ★ワンマン列車に乗務する場合、実乗務の労働時間を1.5倍換算すること。
- ★リニア建設を直ちに中止すること。